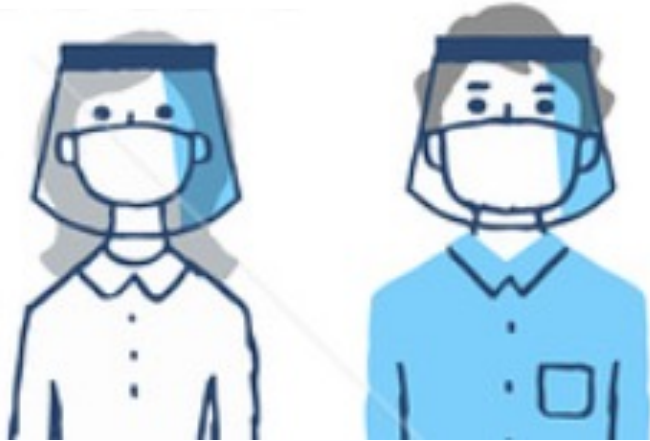


感染症対策

会場スタッフ



- 当日朝に運営本部で検温(37.0以下)
- 不織布マスクやフェイスシールド着用
※マウスシールドはNG
- 手指のこまめなアルコール消毒を心がける
- 休憩スペースでの距離を保ちましょう
- 換気の良い場所で休憩をしてください。
- 来場者のゴミ処理は必ず手袋着用

出店者・販売スタッフ



- 当日朝に運営本部で検温(37.0以下)
- 不織布マスクを必ず着用 (テントシールドあり)
※マウスシールドはNG
- 手指のこまめなアルコール消毒を心がける
- 金銭授受は必ずトレーを使用してください。
- 1ブース2名以上推奨 (最大4名が目安)

感染症対策

コロナ感染症対策 会場運営対応

- 催事場通路の十分な確保（1m～2m） → 什器間の幅、什器レイアウト、商品陳列時の間隔確保
- 接客時のお客様との距離確保をするように促す
- お客様へのマスク着用のお願い・励行のご案内
- イベント会場ご入場時はマスク着用マストとします。
- 混雑時の入場制限や実施制限
- 休憩室を使用する場合は、入退室の前後に手洗いを実施（基本使用しない）
- 休憩時間は分散化し、対面での食事、会話を避ける。
- 休憩場所は、窓を開けるなど換気を徹底 スタッフに対する感染防止に係る教育の実施（アルバイトを含む）
- 手渡しでのサンプリングやリーフレット配布などを行わない（置き式ラック設置可）
- 消毒液（シート）設置（設置が難しい場合は、施設設置の消毒液設置場所の掲示）
- 大声を出しての呼び込みや執拗な声掛けの禁止（積極的な営業の禁止）
- 催事場内のこまめな清掃・消毒
- 子ども集客となる、おもちゃ・キッズコーナー・配布物等の設置禁止
（例：通行者など不特定多数への風船配布など ※申込者や購入者の特典として配布するのは可）

感染症対策

大会実施のための条件

○各チームは1チーム選手最大6名、責任者2名、帯同審判員1名、TO職2名と保護者含む最大20名までとする。

＜参加者の義務＞

○施設のルールを遵守すること。

○お客様へのマスク着用をお願い・励行のご案内

○各チームは、付属書類の健康チェックシートを当日会場責任者へ提出をすること。

○各チームは、試合当日の1週間前の体調を自己で記録し、当日の健康チェックシートを合わせて提出すること。

○選手、スタッフは以下に該当しないものとする。

・37.5度以上の発熱がある。

・せき、喉の痛み等の風邪症状がある。

・だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）がある。

・嗅覚、味覚異常がある。

・体が重く感じる、疲れやすいなどがある。

・新型コロナウイルス感染症陽性と判定されたものと濃厚接触がある。

・同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる。

・過去14日以内に政府からの入国制限、入国後の観察期間が必要とされる国や地域に渡航または、当該在住者との濃厚接触がある。

○帯同審判員、TOについても健康チェックシートの提出をすること。

○試合中以外は全選手スタッフはマスク着用を義務付ける。

＜実際の試合運営における感染対策＞

○飛沫感染防止の観点から大きな声での応援は控えること。

○選手、審判とのハイタッチは禁止する。

○ドリンクやタオルの共有は禁止とする。

○控室などの使用については、各チームは協力しあって時間差で使用するなど「三密」とならないようにすること。また、短時間での利用を心掛け滞在時間を少なくすること。

＜陽性者、濃厚接触者、体調不良者が判明した場合の対応

○各チームにおいて、陽性者、濃厚接触者、体調不良者が判明した場合はJBAが示す「JBAバスケットボール事業活動実施ガイドライン第4版」（2021年9月9日）に従って対応する。

※http://www.japanbasketball.jp/wp-content/uploads/Jba_guideline_4th_20210909.pdf

○体調不良者が判明した場合、速やかに大会運営責任者への連絡をすること。

いずれにしても速やかに関係機関に連絡をし、保健所の指示に従うこと。